

敦賀市議会

# 議会だより

3月  
定例会

## CONTENTS

- 意見書の提出・・・2
- 委員会構成・・・3
- 常任委員会審査報告・・・4～6
- 特別委員会中間報告・・・7
- 代表・一般質問・・・8～14
- 審議結果一覧・・・15
- 議会日誌、6月定例会の日程・・・16

敦賀南スマートIC開通！



キッズパークつるがオープン！

# 意見書の提出

3月定例会で、議会提出議案として提出された意見書案が可決され、関係行政庁に提出いたしました。意見書の件名及び内容は下記のとおりです。

## 参議院議員選挙における合区の解消を求める意見書

日本国憲法が昭和21年11月3日に公布されて以来、今日に至るまでの70年間、二院制を採る我が国において、参議院は一貫してその議員の選挙区を都道府県単位とし、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきた。

こうした中、昨年7月10日、法改正により「鳥取県と島根県」、「徳島県と高知県」の合区による参議院議員通常選挙が実施された。選挙の結果によって、各県独自の課題や意思が、参議院を通じて国政に反映されなくなることは、非常に大きな問題である。

選挙制度において、一票の格差の是正は、重要な課題ではあるが、このことを理由として人口規模のみにより単純に区割りを決定することは、地方の魅力や魅力を最大限生かし、日本全体の活力を上げることを目的としている地方創生にも逆行するものである。

今回の合区による選挙は、あくまで緊急避難措置として実施されたものであり、公職選挙法の附則にも抜本的な見直しが規定されている。

我が国が直面する急激な人口減少問題への対応をはじめ、様々な国政課題に、多様な地方の意見が反映されていく必要があることから、早急に課題解消に向けた措置が講じられるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年3月21日

敦賀市議会

### 請願・陳情は どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみならずが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（\*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

\*該当要件

- ・敦賀市又は本議会の権限に属するもの。
- ・公益的性格を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

### 【書式例】

年 月 日
請願（陳情）書
敦賀市議会議長 殿
紹介議員（請願のみ）
住所 ……………
氏名 ……………
……………について
請願（陳情）趣旨
……………
請願（陳情）事項
1 ……………
2 ……………

# 委員会構成

3月定例会において、委員会のメンバー構成が変わりましたのでお知らせします。

## 議会運営委員会

条例に基づいて設置され、議会を円滑に運営するための協議を行います。

- 委員長 福谷正人
- 副委員長 米澤光治
- 委員 中野史生
- 堀居哲郎
- 前川和治
- 山崎法子
- 別所治
- 田中和義
- 豊田耕一
- 馬淵清和

## 常任委員会

条例に基づいて設置され、全議員が必ずいずれかの委員会に所属します。定められた所管事務の調査を行い、市長から提出された議案や、市民からの請願などを審査します。

### 総務民生常任委員会

- 委員長 中野史生
- 副委員長 原幸雄
- 委員 石川栄一
- 山崎法子
- 別所治
- 馬淵清和
- 立石武志

(※1名欠員)

### 産経建設常任委員会

- 委員長 浅野好一
- 副委員長 常岡大三郎
- 委員 前川和治
- 山本貴美子
- 和泉明
- 豊田耕一
- 北條正
- 林正男

### 文教厚生常任委員会

- 委員長 大塚佳弘
- 副委員長 米澤光治
- 委員 今大地晴美
- 北川博規
- 堀居哲郎
- 福谷正人
- 田中義
- 北村伸治

### 予算決算常任委員会

- 委員長 北條正
- 第1副委員長 田中和義
- 第2副委員長 大塚佳弘
- 委員 議長を除く全議員

## 特別委員会

特定の案件について集中的な審査、調査が必要なとき、議会の議決によって設置されます。

### 原子力発電所特別委員会

- 委員長 別所治
- 副委員長 米澤光治
- 委員 大塚佳弘
- 浅野好一
- 石川栄一
- 福谷正人
- 田中和義
- 豊田耕一
- 北村伸治
- 立石武志

### 新幹線対策特別委員会

- 委員長 北川博規
- 副委員長 中野史生
- 委員 米澤光治
- 浅野好一

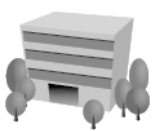
- 委員 堀居哲郎
- 前川和治
- 山崎法子
- 豊田耕一
- 馬淵清和
- 北條正

### 市庁舎建設対策特別委員会(※)

- 委員長 田中和義
- 副委員長 山崎法子
- 委員 北川博規
- 中野史生
- 前川和治
- 福谷正人
- 北村伸治
- 北條正
- 立石武志
- 林正男

### (※) 市庁舎建設対策特別委員会

3月定例会において、市庁舎建設対策特別委員会を設置する議会提出議案が可決されたことにより、新たに設置されました。  
新市庁舎建設に伴う諸問題について取り扱います。



常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

● 予算決算 ●  
常任委員会 ●

「第1号議案」  
平成28年度敦賀市一般会計補正予算（第7号）

質疑

◎民間処分場環境保全対策事業費負担金について

問 補正額はどのように算定されているのか。

答 県と共同で事業を行っており、毎年、年度末に額を確定している。現時点で県は、平成28年度分の総額を1億6017万円と見込んでおり、敦賀市はそのうちの2割負担ということ、3203万4000円となっている。

◎敦賀港貨物集荷推進事業費について

問 補助対象貨物量の増加ということだが、何がどれだけ増加したのか。

答 増加したのは、取り扱っているコンテナの数である。集計は完了していないが、量としては3万TEU（※）を超えると見込んでいる。

◎一時預かり等事業費について

問 私立幼稚園・認定こども園の一時預かり事業を実施しなかったため減額補正となっているが、実施をしなかった理由は。

答 事業者からは県の補助金を選択し、申請したと聞いている。市のほうには申請がなかったため、この事業費では実施しなかったということである。なお、延長保育事業については申請があり、事業を執行している。

討論

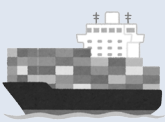
反対 福祉予算を削減していく一方で、新たな負担が増える大型公共施設を設置することに反対する。

採決

賛成多数  
原案どおり認めるべきものと決定

※TEUとは

コンテナ船の積載能力を表す単位。20フィートコンテナの1個分を1TEUとする。



「第9号議案」

平成29年度敦賀市一般会計予算

質疑

◎ハーモニアスポリス構想策定事業費について

問 業者任せという印象を受けるが、業者に委託して構想を練っていくのであれば、敦賀市としての意思をどのようにのせていくのか。

答 業者とは随時連絡を取り、連携を密にしていく。企業調査においては、業者にはわからない部分は、市職員が主体となって説明している。水素社会形成計画についても、ほかの先行自治体と同じような形にならないよう、業者任せにすることなく、敦賀型の計画を練り上げていきたい。

◎生涯大学運営費について

問 定員が100名から60名に減っている。大学院がなくなつた後の受け入れ体制は十分なのか。

答 平成28年度の入学状況は大学で49名、大学院で31名の計80名だった。現実的に人数が減ってきているのは事実であり、定員を60名にしても、希望に応じて対応できると考えている。

自由討議

意見 アクアアトムの管理運営について、キッズパークつるがの入場者数が予測している数値より下回るのではないかと懸念がある。そうならないよう一生懸命取り組んでいただきたい。

意見 生涯大学運営費について、答弁を聞くときと皆さんの人に来て欲しいという思いは伝わる。しかし、福祉の部分は、単純に人が少ないから規模や予算を縮小し、財源を確保するというこ

念である。

討論

反対 住民の命、暮らしを守り福祉を向上させることが自治体の仕事であるにもかかわらず、観光客誘致に積極的な予算を計上する一方、財政が厳しいと言って福祉、教育予算などを削っている。さらに、道路照明灯維持管理費を減らすため道路照明灯のLED化を図ったが、新たに住民負担を増やしている。また、不要不急の大型箱ものの予算や、北陸新幹線の関係経費が計上されていることから反対とする。

**本会議** [議案の委員会付託]  
議案を詳しく検討するため、議長が各委員会へ審査を付託

**委員会審査**  
付託議案の説明→ [質疑]  
→議員同士の自由討議→ [討論]  
→賛成か反対かを表明→ [採決]

**本会議** [委員長報告]  
審査を行った各委員会の委員長が、審査の経過と結果を報告  
→ [質疑] → [討論] → [採決]

**賛成** 今後の人口減少の加速による市税の減収、原子力発電所の長期停止や廃炉に伴う交付金等の減収が予想される中、事業の前倒しや見直し、各種目的の基金からの繰入等を行い、財源を確保していることを評価する。また、北陸新幹線開業に伴う受け皿づくりとその金ヶ崎周辺施設整備計画策定等事業費等、そして、心豊かな人材を育む環境づくりとして大学院等の設置を目指す公立大学法人施設整備費補助金、さらには来年度に開催が迫る福井国体に向けた関係経費が計上されており、これらの事業は、敦賀市のまちづくりに大変重要であるとの判断から賛成とする。

**採決** 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第19号議案〕  
平成29年度市立敦賀病院事業会計  
予算

**質疑**

◎医療従事者修学資金貸与事業費について  
**問** この制度を利用して敦賀病院に就職した人数は。

**答** 敦賀病院の職員になった方は、平成26年度から平成28年度までで41名である。また、修学資金を借りている方

は、平成29年1月現在で看護学部68名、薬学部3名である。

**自由討議**

**意見** 看護師・薬剤師の確保は、敦賀市再興プランの人口減少対策の中にも盛り込まれている事業なので努力していただきたい。また医師確保についても努力していただきたい。

**採決** 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

〔第20号議案〕  
平成29年度敦賀市水道事業会計  
予算

**質疑**

◎新水道ビジョンについて  
**問** どのような形でやろうとしているのか。

**答** 持続・安全・強靱という観点から課題を抽出し、課題解決のためにアセットマネジメント、水安全計画、耐震化計画、今後老朽化する施設の更新についてなど、総合的な検討をする予定である。新水道ビジョン策定等については、水道部門を担当できる建設コンサルタント会社に委託を予定している。

**採決** 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

● 総務民生 常任委員会 ●

〔第21号議案〕  
敦賀市部設置条例の一部改正の件

**質疑**

**問** 建設水道部を建設部と水道部に分けるということだが、メリットは何か。

**答** 下水道事業の公営企業会計化へ向け、着実かつスムーズに移行できるように体制づくりが可能となることは、メリットの一つである。

**問** この改正により人件費や業務量はどのように変わるのか。

**答** 改正に伴って職員を増減するということはないので、人件費が大幅に変わることはない。上下水道関係において、下水道事業の公営企業会計化や、一部業務の民間委託検討に向かう中で、業務量が増えることも考えられるが、現在の職員数でカバーできると考えている。

**問** 平成27年度に行った業務量調査の結果は、この改正に反映されているのか。

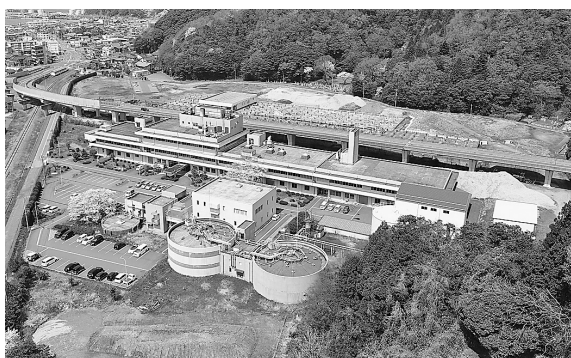
**答** 業務量調査の結果の一つとして、上下水道業務の一部民間委託の検討も上がっており、その結果も踏まえての改正内容となっている。

**討論**

**賛成** 一つの部の中でも事務は多岐にわたっている。組織体制の見直しを行って、改正していくことは重要であり、賛成する。

**採決** 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



天筒浄化センター

## 産経建設 常任委員会

〔第33号・34号議案〕

市道路線の廃止の件及び市道路線の認定の件

### 質疑

**問** 現在封鎖されている県道を縄間2号線として市道に認定するのはなぜか。

**答** 市の要望により、トンネル工事に着手し、平成21年に馬背峠トンネルが開通した。旧道区間については、市道として認定するという確約をしたためである。

**問** 馬背峠トンネルが平成21年開通後、旧県道である縄間2号線について、すぐに市道として認定されなかったのはなぜか。

**答** 市道の認定条件として、県が補修工事を行うことになってしたが、その条件が満たされたので認定した。



**問** 縄間2号線の工事が完了した場合、通行が可能になるのか。

**答** 基本的に封鎖し、緊急時等の通行が必要な場合は、美浜町と協議を行い通行を可能にしたいと考えている。

### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 文教厚生 常任委員会

〔第30号議案〕

市立敦賀病院医療従事者修学資金貸与条例の一部改正の件

### 質疑

**問** 薬剤師養成課程の5、6年生に限り、月額10万円の選択肢を設けた理由は。

**答** 調べる限りでは、看護学部は全国に91校の国公立大学があるのに対し、薬学部は17校と極めて少ないこと。また、ほとんどが私立大学の中、年間授業料が国公立大学に比べて高額なことから、今回薬学生に限り、5万円又は10万円の選択肢にした。

**問** 10万円の選択肢を設ける効果について、他の病院でより高額な修学資金を出している所や条件がいい所はないのか。

**答** 薬学部で10万円出している所は、調べる限りほとんどない。また、5、6年生だけ10万円を設定した理由は、薬剤師が不足している現状があり、短期的確保のために5、6年生を選択制に、長期的確保のために1学年から5万円という考え方で今回薬学生に限り改正させていただいた。

### 討論

**賛成** 薬剤師が非常に不足している中で、全国的にも10万円という金額は十分だということで、敦賀市の医療を守るためにも確保することは大事である。しっかりと取り組んでいただく形を整えるという意味で賛成したい。

### 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定



〔請願第1号〕  
美術館等の建設についての請願

**意見** 敦賀市の財政を考えると単独で建設するのは難しいと思うが、ぜひとも県にお願いし、誘致していただきたいと思う。

**意見** 本来は美術館を作りたい考えである。現実的に場所の選定や財源、また県に建設を求めるといっても相手のあることであり、県からの要求も考えられるという中で、今回の請願には反対する。

**意見** 一度議会で陳情を採択している経緯を考えると、否とすることは難しいと思う。県が建設した場合、維持管理が問題になってくると思うので、その辺りのことをきっちり精査していくことをお願いしたい。

### 討論

**賛成** 敦賀市の財源でやるのは難しいと思うが、請願事項にもあるように、県が財源を出して建てるということには賛成である。

### 採決 賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

## 原子力発電所 特別委員会

その他

### 質疑

**問** もんじゅの廃止措置に向けた国の体制づくりに関する報道について、市のほうに事前に話はあったのか。

**答** 報道で知った。中身を見ると、廃止措置体制というか人員配置などにも具体的に踏み込んでいる。国からは、まだ個別具体的な話は聞いていないため、唐突感が強かった。情報管理がどうなっているのかということも含め、非常に遺憾である。

**問** 敦賀市は廃炉を容認していないという認識だが、確認したい。

**答** 「使用済燃料やナトリウムの敷地外搬出」、「失われつつある千人の雇用への対応」、「今後の廃止措置に向けた安全体制の構築」など3点について説明された上で、初めて廃炉措置について議論するというスタンスである。そういったものが明確になっていない段階での廃止措置の容認は決してあり得ない。



高速増殖原型炉もんじゅ

**問** 市は、国からの説明を待っているということだったが、現在もそういう状況か。

**答** 国からは個別具体的な、例えば安全な廃止措置体制といったものについても全く示されていない状況である。国が内部検討を進めている中、具体的なものが取りまとめられていない段階だったので、『説明を求めている』という答弁をさせていただいた。個別具体的なものが出た段階で、初めて議論ができるのではないかと思う。報道された内容について議論したいが、まだ説明がない。国に問い合わせたところ、近々、廃止措置に向けた安全体制などについて回答したいということに承っている。

## 新幹線対策 特別委員会

駅西地区土地活用に係るサウンディング型市場調査(※)の結果概要について

### 質疑

**問** この市場調査の結果の詳細を説明して欲しい。

**答** 民間事業者から市場性について厳しいという意見を受けており、また、単独で事業を整備していくのは難しいという声が多い。その中で、「事業性あり」というのは、今後のパークアンドライドの活用が見込めるということ、駐車場単独での整備は需要があるといった声があった。「条件付きで事業性あり」とは、土地の一部売却や、安価な土地賃借料、安定的な収入が見込める行政機能の同居等の市の支援により、事業が見込めるとの意見があったことである。

※サウンディング型市場調査とは  
市有地などの有効活用に向けた検討に当たって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、市と民間業者との「対話」を通して市場性等を把握する調査のこと。

北陸新幹線開業後の敦賀駅における駐車場需要予測の結果概要について

### 質疑

**問** 駐車場需給バランスということ、駅西と駅東の設定が示されているが、車の流れはにぎわいと関連して考えると考える。新幹線を利用するとすると、駅東への流れもふえると思われる、全体的に車の流れが変わる可能性があるのではないか。駅東はスペースから台数を算定しているが、その台数の設定は駅西のにぎわいにとって重要ではないのか。

**答** 駐車場整備が駅西と駅東の隆盛を左右する重要な要因と認識している。駅東の100台から120台というのは、立地条件による割り振りであるが、駅周辺の交通施策等も絡め、駅西のにぎわいの足かせにならないような施策を打っていきつつ、駅西、駅東の駐車場整備を進めなければならないと考えている。



敦賀市議会 検索

すべての代表・一般質問を動画で視聴できます。

## 代表質問 項目一覧

### ◎市政会

- 1 予算編成方針（中期財政計画含む）について
  - (1) 平成29年度の財政運営
  - (2) 中期財政計画
- 2 経済政策・観光政策について
- 3 原子力政策について
- 4 防災政策について
- 5 市庁舎の建てかえについて

### ◎政志会

- 1 敦賀市の財政について
- 2 市庁舎について
- 3 交流人口の増加について
- 4 定住人口の増加について
- 5 子育て支援について

### ◎同志会

- 1 中期財政計画と市庁舎建てかえについて
- 2 原子力政策・もんじゅ廃炉問題について
- 3 今シーズンの除雪体制と今後について
- 4 人事案件の事前漏えいについて

### ◎市民クラブ

- 1 中期財政計画と大型プロジェクトについて
  - (1) 体制と人材確保
  - (2) 財源確保と市民サービス
  - (3) 北陸新幹線開業を見据えたまちづくり
  - (4) 市庁舎整備
- 2 金ヶ崎周辺整備について
- 3 国体運営について
- 4 公共下水道事業について

### ◎公明党

- 1 当初予算の重点施策について
  - (1) 金ヶ崎周辺施設整備計画策定と今後の進め方
  - (2) 広域避難先自治体との交流・研修事業と今後の推進
  - (3) 農福連携サポート事業と福祉行政
  - (4) 福井しあわせ元気国体及び元気大会とおもてなし
- 2 新水道ビジョンについて
  - (1) 安定的な水の供給確保の取り組み
- 3 安心安全なまちづくりについて
  - (1) 国土強靱化への取り組み
  - (2) 新庁舎整備の進め方

## 一般質問 項目一覧

### ◎福谷正人議員

- 1 いじめ等への対策について
- 2 ハーモニアスポーツ構想について
- 3 新幹線開業を見据えた活性化について

### ◎北條正議員

- 1 原子力政策と地域振興について
  - (1) 原子力政策
  - (2) 地域振興とハーモニアスポーツ構想
- 2 市立敦賀病院について
  - (1) 地域医療構想を踏まえての将来像
  - (2) 病床機能とネットワーク
  - (3) 回復期病床不足と包括支援
  - (4) 医師、看護師などの確保

### ◎山崎法子議員

- 1 子育て支援の充実について
  - (1) 子育て世代包括支援センター開設
  - (2) 産後ケア事業の取り組み
  - (3) 市立敦賀病院における院内保育園の拡充

### ◎米澤光治議員

- 1 黒河川上流域の整備について
  - (1) 近年の豪雨と黒河川の状況
  - (2) 黒河川上流域の水害対策と保全
  - (3) 黒河地区の「森林公園」整備

### ◎山本貴美子議員

- 1 子育て支援について
  - (1) 医療費の無料化
  - (2) 就学援助
- 2 北陸新幹線の問題について
- 3 庁舎建てかえについて

### ◎北村伸治議員

- 1 敦賀南スマートインターから市街地への道路状況について
- 2 北陸新幹線敦賀駅へのアクセス道路の概要について

### ◎石川栄一議員

- 1 敦賀市の芸術文化施設について

### ◎北川博規議員

- 1 角鹿中学校区小中一貫校設立に向けての状況について
- 2 敦賀市の奨学金制度について
- 3 市職員の勤務と処遇について
  - (1) 勤務時間
  - (2) 超過勤務手当

### ◎豊田耕一議員

- 1 子供の教育環境について
  - (1) 敦賀市の学校現場の現状と課題
  - (2) 子供の貧困対策の推進

### ◎今大地晴美議員

- 1 教育相談支援について
- 2 国道8号2車線化について

### ◎馬淵清和議員

- 1 市立敦賀病院について
- 2 二級河川笙の川の整備について

### ◎浅野好一議員

- 1 敦賀ブランドと農業振興について
  - (1) 敦賀ブランドの開拓
  - (2) 農福連携事業
  - (3) 中山間地の農業振興
- 2 市道の渋滞緩和について
- 3 公共事業工事の平準化について
- 4 人に優しいまち敦賀について
  - (1) 観光客に優しいまち敦賀
  - (2) 赤ちゃんに優しいまち敦賀



## 代表質問



中野史生

(市政会)

### 原子力政策について

**問** もんじゅ廃炉については政府が立地市の要望や意見を無視したことにより、国との信頼関係が崩れた。今後国への対応は。

**答** 市は、使用済燃料、また使用済ナトリウムの敷地外搬出スケジュール、安全を確保しながらの廃止措置体制、雇用への配慮を求めてきた。国には、地元と十分に協議をするよう強く求めたい。

**問** 以前、市長は敦賀発電所3・4号機の建設は必要と答弁していたが現在も変わらないか。今後の対応も含め伺う。

**答** エネルギー基本計画等で原子力発電の位置づけが明確に示されており、最新の知見を反映したより安全性の高い炉に切りかえ、新增設やリプレースを進めていく必要があると考えており、敦賀3・4号機の計画も前に進むことを期待している。今後は、国に対して具体的な計画を示すよう強く求めていきたい。

### 市庁舎の建てかえについて

**問** 現在の市庁舎が耐震性能を満たしていないことから市庁舎整備が計画されたが、建てかえにより免震構造の新市庁舎を整備すると理解してよいか。

**答** 庁舎整備の方向性については建てかえを基本に進める。構造等については、現時点で決定はしていないが、免震工法による鉄骨鉄筋コンクリートづくりとすることを基本とした考え方で最善策の検討を進めたい。

**問** 「防災センターも併設していることから、現在地の優位性が高い」という市当局従来の説明に同意するが、適地選定の判断基準は。

**答** 市の中心にあり市民の利便性があること、建てかえ時に業務の停滞がないこと、財政的負担が少ないことなどが判断基準であると考えている。



敦賀市防災センター

## 代表質問



前川和治

(政志会)

### 交流人口の増加について

**問** 敦賀市を活性化させる一番の方策は人口をふやすことだが、すぐに人口をふやすのは難しいため、まずは交流人口の増加を目指そうとしている。敦賀市としては北陸新幹線敦賀駅開業までの6年間でどこまで観光産業への投資を行うのが大事になる。金ヶ崎周辺整備構想がある中で、新幹線開業までに構想をどこまで実現するのか問う。

**答** 人道の港ムゼウムの拡張または新設や、赤レンガ倉庫に続く新たな集客施設の創出、金ヶ崎周辺エリアの観光開発を進め、「海の駅」と呼べる形に整備していきたい。

**問** 希望の保育園に入れなかったのか問う。

**答** 希望の保育園に入れず辞退された方は31名おり、第1希望ではない保育園に入れた方は100名である。

## 問

保育園を辞退された方や、第1希望の保育園に入れなかった方がいるということは大きな問題であるため、今後の対策について問う。

## 答

短期的には、既存の公立保育園の改修と小規模保育事業所の開設を考えている。中長期的には、今後の推移を見定めて適切に対応していきたい。

## 問

子育て支援の充実には保育士の確保が必要である。敦賀市の保育士は我が子のように熱心に子供たちを見てくれている。現場で働く保育士の給料面、負担面について改善は考えているのか。

## 答

負担軽減等の職場環境の改善とともに、給料体系について研究をしていく。今年度は退職予定者数を上回る保育士を採用し、保育士一人あたりの負担軽減をしたい。

### 子育て支援について

希望の保育園に入れず辞退された方は31名おり、第1希望ではない保育園に入れた方は100名である。



代表質問



立石武志  
(同志会)

中期財政計画と市庁舎建てかえについて

問

昨年12月、国は相次ぐ地震の被害を鑑み、地方自治体庁舎の建てかえに交付税の措置をすることを発表された。敦賀市の場合、約11億円の交付税措置が受けられ、この措置期間が4年とされておられ、先般議会に説明された建設スケジュールではぎりぎりである。計画建設地を変更するとすればこの期限内に本当に着手・着工が出来るのか疑問を持つ。市長の見解は。

答

平成32年度末までの4年間、1年繰り越しをしたとしても5年間という期限の中で庁舎建設を完成させることは容易ではないことを認識している。当初は平成29年、30年度の2年間を要して建設候補地を選定し、平成34年度から建設するスケジュールであったが、昨年12月末に国の財政措置が新たに示され2年前倒しして対応するため、庁内における協議検討に入った。

今シーズンの除雪体制と今後について

問

シーズンの大雪の際、多くの区長さんや議員には除雪作業が遅いことや、自力で除雪した後に除雪車が通り雪の塊を玄関、車庫前や駐車中の車を塞ぐといった苦情があった。複数の業者の話によると、大雪警報が出たが市道の除雪指示はなかったと聞く。

答

除雪の指示については市内、各エリアごとに10センチを超えそうであれば適宜除雪の出勤命令を出しており、除雪が遅かったというのではなく、降り方によるものだとご理解をいただきたい。除雪待機の出し方についてはこれまでの気象情報や今回の警報の出方を再度検討し、来年度からどのような方法で出したらよいか考えていきたい。排雪については地区によっては雪を置く箇所も異なるので市が開設する排雪場の増設について検討し、より速やかに排雪作業が行えるよう努めてまいります。

代表質問



別所 治  
(市民クラブ)

体制と人材確保

問

2018年以降は「福井国体関連事業」のほか「市庁舎の整備」「最終処分場建設」「小中一貫校の整備」「新幹線開業を見据えたまちづくり」また、5年後には「新清掃センターの整備」など大型プロジェクトがめぐる押しである。これらの事業を効率よく推進していくためには、事業に対応した、縦割りではない、プロジェクト的な体制と人材確保が必要と考えるため、所見を伺う。

答

今議会に提案している部設置条例の一部改正案の中で、各種施策を着実かつ効果的、効率的に推進するための体制を整備し、部局間の連携が必要な行政課題については、関係部局で内部検討会を立ち上げ協議している。また、人材については、全国的に人手不足の状況が続いている中、即戦力となる人材の確保のためインターン、Ｊターン、Ｕターン推進のため、社会人枠を追加して職員採用試験を実施している。次年度以降も、採用バランス等を考慮し中長期的な視点に立った採用を考えていく。

公共下水道事業について

問

公共下水道事業は、「快適に暮らせる都市づくり」として、昭和49年に1期の認可を受け、供用開始から今年で34年が経過している。認可率が全体の61%しか達していないのに、平成29年度の予算は、平成28年度に比べ大幅に減額されている。今までの進捗状況と予算も含め今後の計画を伺う。

答

公共下水道を将来整備すべき区域は2430ヘクタール、国から認可を受け、整備を進めている区域は1482ヘクタール、今までに整備済の面積は1195ヘクタールになっている。また、過去、5年間の管渠整備事業費は、平均で年間約6億円に対し、新年度は、約3億5千万円になっている。事業費については、30年度は、松島のポンプ場の整備もあり、増額する予定である。現在、6期まで認可されている区域については、平成34年度の完了を目指している。また、公共下水道区域全体の完了予定については、今後の宅地化の進展を考えると、完了予測は難しいと考えている。



代表質問



大塚佳弘

(公明党)

## 広域避難先自治体との交流・研修事業と今後の推進

### 問

重点施策に基づく主要事業として掲げられた『災害に強いひと、地域、まちづくり』の中から、広域避難先自治体との交流研修事業の目的・効果と今後の推進についてお聞きする。

### 答

広域避難先視察研修事業は市民の皆様方が実際に奈良県の避難施設の視察・交流をする。原子力災害の広域避難先等の理解を深めることを目的とする。この事業により市民の皆様方の原子力防災への意識を高めていただくとともに、避難先の奈良県内の4市、奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市の住民の方々の友好関係を深めることで緊急時の円滑な避難につなげていくことを考えている。福祉保健部は、高齢者視察研修助成事業として老人クラブが避難場所等を視察する事業を実施する。産業経済部では関係4市の広報誌に敦賀市のPR記事を掲載していただくほか、敦賀観光協会作成予定の「敦賀わくわくパスポート」を4市に無料提供し、敦賀への誘客促進を考えている。

## 農福連携サポート事業と福祉行政

### 問

重点施策に基づく主要事業として掲げられた『特色と強みを活かした産業の振興』の中から、今回初めての試み事業として、農業と福祉の連携による障害者就労支援の拡大を図る農福連携サポート事業の目的と展開、概要についてお聞きする。

### 答

事業の目的は、農業分野における新たな働き手と障害者等の就労促進のため、福祉と連携した農業活動体制の構築を図ることである。この農業活動の体制の構築により農業経営体は担い手の確保と収量のアップにつながる。一方、障害者は就労の場の拡大や作業賃の向上につながり、双方メリットがある連携を目指す。今後の展開として最初は敦賀の伝統野菜や東浦みかんの農作業からスタートし、現地作業の安全面や成果面の確認も含めて、今後の可能性を検証し、福祉部局と協議しながら進めていく。



## 所管事務調査

### 産経建設常任委員会 (3月13日)

産経建設常任委員会では、「第2産業団地の現状」について産業経済部からの説明の聴取及び現地視察を実施し見識を深めてきました。

#### ・第2産業団地について

第2産業団地造成計画事業費については、総事業費が約22億6000万円であり、そのうち約15億1000万円が市負担額であるとのことでした。現在、第2産業団地事業用地取得時に必要となる各種申請・協議等の手続きを進めており、平成31年度に敷地造成完了を目指しているとの説明がありました。

委員からは、造成時の土砂の調達についてや、上・下水道管の移設について、市負担金の財源等について質疑を行い、担当職員から更に説明がありました。

また、その後担当職員と共に現地に向かい、視察を行いました。

所管事務調査及び委員会視察を終えて、第2産業団地造成計画事業費の敦賀市負担金について

は、県の貸付金であることから、無利子期間中に企業誘致を確実にし、分譲地が完売できるように要望しました。

また、現地において造成後の分譲地の形状や、新たに整備する道路等の説明も受け、意義ある調査となりました。



#### ※所管事務調査とは

常任委員会は、所管する市の事務に関して調査を行う権限があり、その権限に基づく調査のこと。原則として定例会の会期中に調査活動を行う。

一般質問



福谷正人  
(市政会)

ハーモニアスポリス構想について

**問** 構想の中で調和型水素社会の形成があるが、産業の複軸化や雇用につながるのか。

**答** 敦賀市ではエネルギー研究開発拠点化計画の中でも基礎研究、応用研究をすることにより付随する企業も出てくるということも想定される。できれば材料の輸入から部品の製造、組み立て、販売、さらには最終的なリサイクルまでのライフサイクル的なチェーンを構築したい。そういった中で産業、企業の誘致を図っていききたい。

**問** 水素関連の産業、企業誘致ということだが、ハーモニアスポリス構想では「敦賀市は工場立地に適さないから滋賀県湖北に工場をつくつてもらおう」ということだった。敦賀市にどういうメリットがあるのか。

**答** 敦賀港の利用促進と、敦賀市内の工業団地でも十分に入る企業の進出、あるいは研究機関の誘致も行いたい。

一般質問



北條 正  
(市民クラブ)

原子力政策と地域振興について

**問** エネルギー拠点化推進会議において、試験研究炉はもとより、今後の高速炉研究に欠かせない研究拠点の新たな構築の具体策など積極的に県をリードする政策を示すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** もんじゅ廃炉方針は納得できる状況にはなく、あわせて示された研究開発の拠点として具体的でないもので、まずは国としての具体的な方策について説明すべきと考える。

**問** ハーモニアスポリス構想で連携する5市町の首長と担当者によるハーモニアスポリス構想連合(仮称)的な組織化をすべきと考えるが、見解を伺う。

**答** 連合組織ができあがれば一番望ましいが、敦賀市と関係する5市町それぞれに温度差がある。短期間での連合体の設置は難しい。

一般質問



山崎法子  
(公明党)

産後ケア事業の取り組み

**問** 母体の回復・授乳状況及び精神面の把握を目的に、産婦健康診査を2回分国が助成するという事業に関して、今回の産後ケア事業の中では示されていないが、今後実施するのか伺う。

**答** 産後の心身の状態について丁寧な支援をすることは非常に重要であると認識している。市では、出産医療機関との連携を図りながら、新生児訪問やこんにちは赤ちゃん事業を実施している。産婦健康診査については医療機関との調整も含め、検討していく。

**問** 病児保育と院内保育拡充と同時に取り組んでもらいたいと考えるが、その進捗状況と市長の見解を伺う。

**答** 看護師を含めた医療スタッフの確保のための院内保育は重要であり、病児保育の必要性についても子育て支援策の取り組みとして必要だと認識している。適切な候補地を関係部署と詰めて積極的に考えていきたい。

一般質問



米澤光治  
(市政会)

黒河川上流域の整備について

**問** 近年の台風や豪雨の影響で黒河川上流域は大変荒れてしまったが、現在の状況について市としてはどのような情報を把握していて、どのような現状認識を持っているのか。

**答** 最近の豪雨により土砂、転石及び流木が堆積している状況は確認している。近隣住民からも、昔より堆積物がふえ河川環境が変わったと聞いている。河川管理者である県からは、パトロールにより土砂堆積状況を確認し、堆積の多い箇所については緊急度の高い箇所から順次適切な措置をとっていく予定と聞いている。

**問** 黒河川上流域が荒れ、市民が自然に親しむ場、子どもが自然を体験する場が失われた。市として何か対応できないか。

**答** 河川は憩いの場という一面もあり、河川環境の保全ということを念頭に置きつつ、県と情報共有を図り適切な維持管理を要望していきたい。

## 一般質問



山本貴美子  
(無所属)

## 就学援助

### 問

文部科学省は、2017年度から要保護世帯への就学援助の新入児童生徒学用品費の補助単価を引き上げた。要保護世帯は各自自治体の判断に任されている。敦賀市も支給単価を引き上げるべきである。また、現在は7月に支給されているが、入学前に支給すべきではないか。

### 答

本市の就学援助費の支給単価は、本市の財政状況、国の動向等を勘案し決定しているため、国の動向や他市の状況等を注視し検討してまいりたい。入学前支給について、他市の先進事例を参考に研究してまいりたい。



## 一般質問



北村伸治  
(政志会)

## 北陸新幹線敦賀駅へのアクセス道路の概要について

### 問

北陸新幹線敦賀駅開業が、平成34年度に決まり、終着駅となる敦賀駅から国道8号バイパスへのアクセス道路工事計画がある。アクセス道路の工事期間について伺う。

### 答

県と市が一体となって現在計画を進めている。スケジュールとしては、平成28年中に都市計画決定に向けて手続きを行い、平成29年度は本計画が事業認可され次第、詳細設計や用地買収を行う予定。工事は用地買収後、平成30年度から平成34年度にかけて北陸新幹線敦賀開業に間に合うよう行う予定。

### 問

アクセス道路の整備延長と車線数及び歩道工事と北陸新幹線駅前広場側の駐車場整備について伺う。

### 答

整備延長は、690メートル。車線数は片側1車線の2車線道路。歩道は両側に設ける。また、北陸電力の鉄塔を回避した線形で計画する。北陸新幹線駅前広場の駐車場は、新幹線駅に付随する整備が必要と考えているが、駅西地区とのバランスに留意した整備を進めていきたい。

## 一般質問



石川栄一  
(政志会)

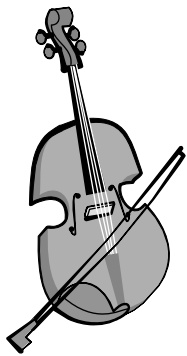
## 敦賀市の芸術文化施設について

### 問

次代を担う子供たちや市民の文化的教養財産になり得る音響、照明設備の整った小規模ホールの新設、併設をぜひ検討していただきたい。

### 答

現時点で新たに小規模ホールを建設するということは困難であるが、例えば第2萬象等、将来的に施設の集約化や複合化を検討する中で、良質な小規模ホールを併設するというのも考え得るのではないかと考えている。まずは市民ニーズとしてどのような音楽、演劇、舞踊等の活動を求めておられるのか。また、どのような設備、施設が必要かといったことも十分踏まえて、建設費用、設置後の維持管理と、また活用の方法なども十分に考慮しながら、芸術文化に触れて感動を生む優良なホールといったものを考えていきたい。



## 一般質問



北川博規  
(市民クラブ)

## 市職員の勤務と処遇について

### 問

敦賀市職員の超過勤務の手当の支給、条例等に則って正しく支給されているのか伺う。

### 答

条例、規則等に基づいて所属長が認めた部分については手当を支給しているが、限られた予算の中でのことで全ての時間分を手当として支給することは非常に厳しい。行財政改革により、職員の仕事と私生活が両立できるように、超過勤務時間の削減と同時に手当の支給についても改善を図っていきたい。

### 問

ワーク・ライフ・バランスを大事にするという言葉が挙げられるのであれば、きちっとしたシステムの中で手当てをとっていただきたい。これからの対応について市長の考えを伺う。

### 答

業務の増加ということに関して、任期つき職員の採用、臨時職員の採用等、組織の再編という中で業務の偏りをきちんと平準化していきたい。一人の職員に業務が過重にかかることのないように取り組んでいきたいと思っている。

一般質問



豊田耕一  
(同志会)

子供の教育環境について

**問** 一般的なランドセルというところから5万円ぐらいするところまで、少しでも保護者の負担を減らすため、本市の小学校でランドセルにかわる安全かばんを普及できないか。

答

P T A会長が学校側と協議され、新しいかばんを導入したという経緯を承知している。通学用のかばんの導入に当たり、どのタイプのかばんが子供たちにとって最も適切か、P T Aと学校が十分に協議をして話し合いをしているとともに、地域の皆様の御意見を踏まえ、判断していただければよいと考えている。



市立中郷小学校で使用している安全かばん

一般質問



今大地晴美  
(無所属)

教育相談支援について

**問** ハートフル・スクールの午前9時から午後4時までという電話窓口の相談時間について、適切だと考えているのか。時間帯の延長など時間外の対応については今後どのようにされていくのか。

答

従前から開設時間に合わせて9時から4時ということで電話相談を行っていている。市でできないほかの時間については、県の電話や国の電話等に対応してもらっている。金曜日の5時以降は別の回線の留守電対応で案内している。

問

ハートフル・スクールに電話した場合に、4時以降は、県の児童相談専用電話に直接、ダイヤル回線をつなぐことが一番確実で、早い。直接そこへつながるような回線を検討できないか。

答

電話をつなげるかどうかという技術的な面、それから受け入れ側との協議は必要になるかなと考えている。そういった24時間体制の相談窓口との連携については、今後、検討していきたいと考えている。

一般質問



馬淵清和  
(政志会)

市立敦賀病院について

**問** 地方公営企業法の全部適用に伴い、人事権を含めた裁量権が市長から事業管理者に移行された。よって病院独自の手当や報奨制度の創設を実施し職員のモチベーションを向上し人材確保に努めてはどうかと考えるがその点についての所見は。

答

手当の創設について、全部適用に伴い、病院独自の給与体系をつくることは可能。市当局とのバランス等も考え、今年始まった人事考課を参考にしつつ頑張った職員に少しでも手当を厚くする給与体系にしたいと考えている。



市立敦賀病院

一般質問



浅野好一  
(市政会)

敦賀ブランドと農業振興について

**問** 北陸新幹線敦賀開業、福井国体等に向けて、「敦賀ブランド」の掘り起こし、開拓、育成についてどのような計画をしているのか伺う。

答

現在、「新商品チャレンジ事業」として地域資源を活用した新商品開発を支援している。また、国体、北陸新幹線の敦賀開業を見据えた新商品の開発を進めている。

問

中山間地で農地の維持管理が困難な要因に獣害があるが、恒久柵設置の自己負担が捻出できず、放置されている地域もある。苦慮している地区を今後救済する方策はないのか。

答

これまで金網柵の資材を無償で提供し、施工を地元住民が行う自立施工方式を推進してきた。住民の過疎化や高齢化により施工ができない地区には、市が施工を行い地元が20%を負担する請負工事方式を提案している。さらに20%の地元負担分を中山間地域等直接支払制度で賄うことも可能である。

# 審議結果一覽

平成29年第1回定例会では、平成28年度各会計補正予算案8件、平成29年度各会計予算案12件、条例案11件、一般・人事議案5件、報告議案1件、議会提出議案3件、請願1件が審議されました。  
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

## 市長提出議案

### 1 予算

件名	付託委員会	結果
平成28年度敦賀市一般会計補正予算(第7号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部)特別会計補正予算(第3号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀市介護保険特別会計補正予算(第3号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算(第4号)	予算決算	可決
平成28年度市立敦賀病院事業会計補正予算(第3号)	予算決算	可決
平成28年度敦賀市水道事業会計補正予算(第2号)	予算決算	可決
平成29年度敦賀市一般会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市港湾施設事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀都市計画土地区画整理事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市国民健康保険(事業勘定の部及び施設勘定の部)特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市下水道事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市漁業集落環境整備事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市農業集落排水事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市介護保険特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市産業団地整備事業特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市後期高齢者医療特別会計予算	予算決算	可決
平成29年度市立敦賀病院事業会計予算	予算決算	可決
平成29年度敦賀市水道事業会計予算	予算決算	可決

### 議会提出議案

件名	付託委員会	結果
市庁舎建設対策特別委員会の設置の件	—	可決
「参議院議員選挙における合区の解消を求める意見書」提出の件	—	可決
敦賀市議会委員会条例の一部改正の件	—	可決

### 2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市部設置条例の一部改正の件	総務民生	可決
職員の育児休業等に関する条例及び敦賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市市税賦課徴収条例等の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市ねたきり老人等介護福祉手当支給条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市介護保険条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市老人居室整備資金貸付条例の廃止の件	文教厚生	可決
敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件	文教厚生	可決
市立敦賀病院医療従事者修学資金貸与条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市立看護専門学校設置条例及び敦賀市立看護専門学校授業料等徴収条例の廃止の件	総務民生	可決

### 3 一般・人事

件名	付託委員会	結果
市有財産の無償譲渡の件	総務民生	可決
市道路線の廃止の件	産経建設	可決
市道路線の認定の件	産経建設	可決
敦賀市副市長の選任につき同意を求める件	—	同意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件	—	同意

### 4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件 (損害賠償の額の決定及び和解)	報告のみ

### 請願・陳情

件名	付託委員会	結果
美術館等の建設についての請願	文教厚生	採択

# 議会日誌

平成 28 年 12 月 19 日以降の主な議会活動の紹介です。

1月	10日(火)	広報広聴委員会
	20日(金)	産経建設常任委員会所管事務調査
	24日(火)	議員説明会
	27日(金)	広報広聴委員会
	31日(火)	各派代表者会議
2月	1日(水)	議会運営委員会行政視察
	16日(木)	議会運営委員会、議員説明会
	22日(水)	各派代表者会議
	23日(木)	議会運営委員会、全員協議会、本会議(3月定例会開会)
	28日(火)	予算決算常任委員会全体会(補正採決、当初)
3月	1日(水)	予算決算常任委員会分科会(当初)
	8日(水)	議会運営委員会、本会議(補正採決、代表質問)
	9日(木)	本会議(代表質問、一般質問)
	10日(金)	本会議(一般質問)、各派代表者会議
	13日(月)	総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
	14日(火)	原子力発電所・新幹線対策特別委員会
	15日(水)	予算決算常任委員会全体会(当初採決)、広報広聴委員会
	29日(水)	議員説明会
4月	4日(火)	広報広聴委員会
	20日(木)	広報広聴委員会
	24日(月)	市庁舎建設対策特別委員会
	28日(金)	議会運営委員会、広報広聴委員会
5月	2日(火)	市庁舎建設対策特別委員会
	8日(月)	文教厚生常任委員会
	22日(月)	敦賀・長浜・高島三市議会協議会総会
	23日(火)	議会報告会

## 敦賀市議会ホームページにアクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成22年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

[http://www.city.tsuruga.lg.jp/about\\_city/parliament/index.html](http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html)

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157  
 Eメール: gkai@ton21.ne.jp  
 住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号  
 発行所: 敦賀市議会  
 委員長: 石川 栄一郎  
 副委員長: 中野 史博  
 委員: 大塚 佳規、北川 博、大野 晴、今野 好、大野 光、浅野 美、大塚 弘、大塚 治、大塚 一郎、大塚 美、大塚 治

編集委員



## 6月定例会の日程(予定)

6 June 2017						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5 本会議 (議案説明・質疑)	6 予算決算 常任委員会	7	8	9	10
11	12	13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 本会議 (一般質問)	16 常任委員会	17
18	19 特別委員会	20 特別委員会	21 予算決算 常任委員会	22	23	24
25	26 本会議 (報告・採決)	27	28	29	30	